



## 患者用インフォメーション 口腔カンジダ症 (鵞口瘡)

### 口腔カンジダ症

口腔カンジダ症（別名：鵞口瘡（がこうそう））として最もよくみられるのは、口の中に現れる白いカッテージチーズに似た苔状の病変です。時に、粘膜が赤く刺激されたようにみえることもあり、入れ歯やその他の補綴物（クラウン・ブリッジなど）によって覆われる部分にしばしば見られます。カンジダ感染者は口の中の灼熱間や味覚障害を訴えることがありますが、まったく症状のみられないことがほとんどです。

口腔カンジダ症のハイリスク患者としては：

- 新生児
- 化学療法や放射線療法によるガン治療を受けている患者
- HIV 感染者
- 組織または臓器移植をうけている患者
- 全身疾患、加齢、あるいは薬の副作用による口腔乾燥症（ドライマウス）を呈する患者
- 上顎の入れ歯を使用している患者
- ステロイドや抗生剤を服用中の患者



口腔カンジダ症- 紅斑部に囲まれた、多発性の白い“カッテージチーズ様”苔状病変。



口腔カンジダ症- 通常、部分入れ歯によって覆われている、赤く刺激された病変部。

### 口腔カンジダ症について Q&A:

**Q:** 口腔カンジダ症って感染するの？ どのようにして感染するの？

**A:** カンジダ菌は多くの人の口の中に常在していますが、目に見えるほどに増殖したり症状を起こすことはめったにありません。真菌は人から人へうつることができます。しかし、真菌の増殖を促し感染を起こすような特別な要素がない限り、臨床的に問題とはなりません。



## 患者用インフォメーション 口腔カンジダ症 (鵞口瘡)

### Q: 真菌感染の原因は何？

A: カンジダ菌 (*Candida albicans*) は たいいてい、他の微生物・細菌とともに調和よく口腔内に常在します。しかし、カンジダ感染症は、とりわけ正常な口腔内環境に変化があったりそれがみだされたとき、真菌の増殖としてみられます。(上記：ハイリスク患者を参照)

### Q: どうして入れ歯の部分にカンジダ感染がおこるの？

A: 入れ歯に覆われる部分は温かく、暗く、また湿った状態—すなわち、真菌にとって絶好のインキュベーターとなります。また入れ歯が入ればなしの状態では、入れ歯に覆われる部分の組織(口蓋)は、日中に蓄積される真菌を清掃できません。夜間はいつも入れ歯をはずし、正しく除菌することが不可欠です。

### Q: どのように口腔カンジダ感染を治療するの？

A: かかりつけ歯科医にとって、感染の誘因を知るために診察をすることが最も重要であり、それによって一番効果的な治療計画をたてることができます。場合によっては、入れ歯の清掃状態をよくするだけで十分な場合もあります。必要に応じて、真菌の増殖を抑えるための薬(抗真菌剤)が処方されます。抗真菌剤としては、塗り薬、トローチ、内服薬などさまざまな処方があります。感染の原因が歯科領域外に及ぶことが疑われる場合には、医科への紹介がなされます。

このモノグラフに含まれる情報は、教育目的のみに作成されています。本情報は、専門医のアドバイス、診断、治療にかわるものではありません。健康状態についてのご質問は専門医療提供者にご相談ください。本モノグラムに提供された情報のみに頼ることは、あなたの健康のリスクにつながります。

オーラルメディスン米国アカデミー (THE AMERICAN ACADEMY OF ORAL MEDICINE : AAOM) について  
オーラルメディスン米国アカデミーは、デンタルメディスン米国アカデミーとして1945年に設立された非営利団体(501c6)であり、1966年に現在の名称に改称されました。オーラルメディスン米国アカデミー会員は、国際的に認識されるヘルスケアプロフェッショナルのグループを含む、複雑な全身疾患・口腔粘膜疾患・慢性口腔顔面疼痛などを患う患者の口腔ケアに携わる専門医からなります。オーラルメディスンは、複雑な全身疾患の口腔管理を担い、口腔顔面領域に影響を及ぼす医科関連疾患とその病態の診断および非外科的処置を担う歯科専門分野です。

The American Academy of Oral Medicine • (425) 778-6162 • [www.aaom.com](http://www.aaom.com) • PO Box 2016 • Edmonds • WA • 98020-9516